

狭山の元気 発見



日本一汚い川と言われた不老川の清流化に 取り組むこと24年、その努力と実績が 高く評価され、緑綬褒章を受章

不老川をきれいにする会が、川を地域住民の憩いの場とするために浄化に取り組んで24年がたちました。東京都瑞穂町を源流とし、人間・所沢・狭山を経て、川越

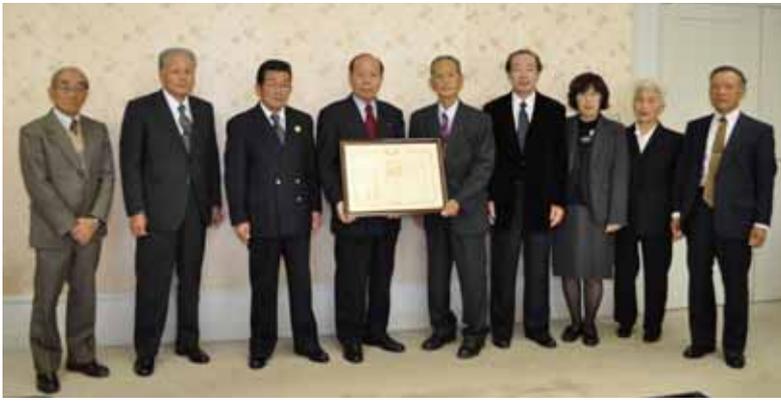
で新河岸川に合流する不老川は、人口の増加に伴う生活排水の垂れ流しなどにより、昭和58年から3年連続、日本一汚い川というありがたくない称号を与えられていました。この現状を憂い、清流に戻そうと立ち上がったのが不老川の近くに住み、当時自治会連合会長だった新井悟楼さんでした。新井さんは、市内流域31自治会に呼びかけ、昭和60年12月、不老川をきれいにする会を発足しました。

昭和62年からは、毎年クリーン作戦を実施し、市民、行政企業、中学校の1千名を超える方が不老川をきれいにしようとして参加しています。また、このほか、月1回の早朝パトロールや親子体験事業、小中学校への出前語り部などを行っています。



不老川の清流化に対する熱い思いを語る「不老川をきれいにする会」会長の新井悟楼さん

不老川をきれいにする会



緑綬褒章受章を市長へ報告に訪れた「不老川をきれいにする会」の皆さん(11月24日)



小中学校で、川の歴史や浄化の大切さを教える出前語り部



毎年恒例となり、23回目を迎えた不老川クリーン作戦(5月16日)

活動を始めたころは、生活排水だけでなく、家畜のふん尿、オートバイ、ドラム缶、布団などが捨てられ、あたかも川はごみ捨て場のようにでした。新井さんは、会員たちで川のごみを引き揚げ、その処理を市にお願いしました。片付けては捨てられ、また引き揚げては処理するという作業の連続で、10年間ほどは大変苦労しました」と当時を振り返ります。

こうした長年の市民主導型の地道な活動により、昨年の6月に、日本水大賞、市民活動賞を受賞。さらに、11月には、緑綬褒章、顕著な社会奉仕活動の栄誉に輝きました。表彰状をいただいたときは、本当に感無量でした。継続は力なりと言いますが、この受章は、官・民・企、皆さんのご支援の賜物です。今後も、会員をはじめ、地域住民の皆さんと一緒に、川の清流化による住みよいまちづくりを進めていきたいと思えます。そして、体験

的倫理学習などを通じて、心がよりどころとなり、気持ちよく散歩できる川辺、親子の触れ合いなど、川を人間形成の場にしたいのです」と新井さんは力強く語ります。不老川は、現在、清流間近の川によみがえり、たくさんの魚が泳ぎ、鴨も飛来するようになりました。川の清流を取り戻し、維持していくのには何よりも市民一人ひとりの協力が欠かせません。会員の皆さんは、今回の褒章を大きな励みに、これからも浄化活動に一層努めていきます。

オピニオン

学んで教えて 人生をいきいきと



つのだ 角田栄子さん
(富士見在住)

私は長い間、看護師として働いてきましたが、今は仕事を離れ、家庭も落ち着き新しい人生を送っています。

もともと好奇心が強く、学ぶことが大好きな私は、四国から移り住み、我が故郷になった狭山市の史跡にとっても興味があり、現在、狭山シニア・コミュニティ・カレッジの狭山の歴史学科・石仏研究コースで学んでいます。仲間とともに市内の名所旧跡を巡るのは本当に楽しいですね。こうして学べる機会があることは大変素晴らしいことだと思います。自分が学びたいと思うことについて、年齢を問わずに学習活動ができる土壌があることは、人生をいきいきと過ごす大きな力になると思うのです。

また、私は、学ぶだけではなく、これまで自分が学んできたことや、知識を地域に役立てることはできないかと考え、学校支援ボランティアにも登録し、中学校で数学の授業を補助させていただいています。

多くの人が地域で学び、そして地域へ還元するという流れを作ることはとても大切だと思います。今後も、市には魅力あるまちづくりの柱として、生涯学習の分野にさらに力を注いでいただきたいと思います。

市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。

年齢を問わず豊かに学び、その成果を地域に役立てることは、とても大切なことだと思います。今後も、多くの皆さんが学びの楽しさに気づき、自らその成果を生かして地域で活躍することに、やりがいや喜びを見出していただけのように生涯学習の推進を図り、(仮称)狭山元気大学の開設にも努めていきます。

担当政策企画課・社会教育課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

2953 7817

私の宝物 ...

「家族との絆」を感じる35年の歩み

昭和49年、狭山に転入し、子ども達が小学校に入学して字を書けるようになってから、毎年お正月の二日に家族そろっての書き初めを続けています。



しろき 敏雄さん
(青柳在住)

今年で35年目を迎え、これまでのできたことを改めて感じさせられます。



1枚1枚の書き初めに家族の思い出が

これからの人生、支えられて生きてきたことに感謝しつつ、「家族との絆」を大切に過ごしていきたいと思います。

今回は、北入曽にお住まいの方を紹介します。

Hello ハロー 仲間たち

Vol.341



1キロのダンベルを2個使い、誰でも気軽にできます

柏原ダンベルサークル

私たちのサークルは、公民館の講座から発展して7年前にできました。現在17名の会員がいて、毎週金曜日に柏原公民館で活動しています。

ダンベルを使った健康体操は、ウエイトトレーニングと違い、筋肉に適度な刺激を与えることで基礎代謝を高め、肥満予防や寝たきり防止などの成人病予防や改善に幅広く効果があるほか、心の引き締めにも有効です。